

城端地域まちづくり検討会議 地域別意見交換会 会議録

件名	城端地域まちづくり検討会議 地域別意見交換会		
日時	平成30年12月4日(火)	場所	城端庁舎 3階 ホール
出席者	〔意見交換会参加者〕27名 〔ファシリテーター〕谷内博史、谷内千尋 〔検討会議委員〕11名		
内容	まちづくり検討会議 地域別意見交換会		
詳細	<p>【まちづくり検討会議における協議検討内容の説明】 ※別添「当日配布資料」参照</p> <p>【地域の皆さんからのご意見・ご質問】 ※「○」はご意見</p> <p>Q. 人口減が前提の構想に思える。後世への負担も考慮されているが、人口を増やす方法の検討も必要ではないか？</p> <p>○子どもが「行きたい」と思える場所づくりを</p> <p>A. 子どもを産みやすくする、育てやすい雰囲気づくり、サポートを一カ所で行うことが大切で、複合交流施設にそのような機能を持たせたい。空き家バンクの城端版の機能を持たせることで移住定住の受け皿にも。住む・育てる・仕事の充実が人口増につながる → ソフトの充実 ⇒ 魅力を全国に発信</p> <p>○城端地域は南砺市の中でも「ものづくり」が盛んな地域。絹織物や和菓子、民踊、地方(じかた)などを活かして、担い手と連携した「キッズニア」のような、知識だけでなく子どもの心を育てる体験ができて、家族連れが集まる、自立して稼げる地域づくりが必要。その拠点となる機能もあって欲しい。</p> <p>→人口が減少する中でキッズニアのような大型の体験施設やワークショップは非現実的かもしれないが、サークルのように少人数で活動する「輪」が広がる「場づくり」の支援を行いたい。</p> <p>先進的な事例として「まちのえき」で職業体験を行っている例もある。</p> <p>→「情報を集約できる・発信できる」ことが複合交流施設の最大のメリット</p> <p>→田舎に移住する人は「田舎の良さ」を求めてくる。テーマパーク＝魅力につながるか？</p> <p>⇒テーマパークではない。町の文化を体験してもらい、稼いで持続できる仕組みづくりを</p> <p>Q. 商工会館建物の耐用年数は大丈夫なのか？</p> <p>A. 古い建物であり耐震も十分ではないが耐用年数が到来したらすぐに使えなくなるというものではないと考えている。勤労青少年ホームよりも使い勝手は良く当面はそこを活用してはどうかという考え。</p> <p>○曳山修理工房は、単に曳山を修理するだけではなく、修理の工程そのものに価値があると思うので、しっかりとしたフォローアップをしてほしい。</p> <p>→移転先の場所、工房の利用者(職人さん)の利便性も考え、観光資源としての可能性も含めて計画に盛り込んでいきたい。</p> <p>⇒工房の現状について、実は、文化庁から修理プロセスの公開が禁じられているが、地域の方々や次世代の子どもたちに、地元の文化を見て知ってもらうことがとても大切。</p> <p>○図書館の蔵書が少なくなると、地元ボランティアによる「移動図書館」の選書が難しくなり、活動が困難になることが心配</p> <p>→どのような蔵書や機能を残すべきかという、具体的な中身についてはこれからの要検討課題。</p> <p>⇒図書館内に文化財や貴重な文献などが保存されていることもあり、それらの適切な保管継承等の対応についても検討してほしい。</p> <p>○複合交流施設の建設にあたっては、太陽光などの自給自足できる再生可能エネルギーや地場産木材の活用など、設計・建設等のプロセスに地域の人やモノを使うことも考慮してほしい。</p> <p>○城端の「ものづくり文化」は専門性の高い職人が連携して創作・制作することで深みを生み出している。蔵書を残すだけでなく、先人からの知識・伝統・技術を伝える方法も十分に検討してほしい。</p> <p>→城端に限らず市内各地域にある美術品や伝統文化をきちんと次の世代に伝え残すための方法を探る必要がある。各庁舎に現存する美術品等も含めた貴重な文化財を保管する場所が無くなること、それらの残し方を考えてほしいという点についても提言したい。</p> <p>→コンシェルジュは、先の先の代まで文化を伝えていきたいという人材であってほしい</p> <p>Q. 今回の提言内容は、庁舎統合に端を発した経緯もあるが、複合交流施設の新設ありき？まちづくりの必要性から生じたもの？</p> <p>A. どちらが先ということでもなく、どちらも並行して議論を進めてきた。複合交流施設については「ハコモノをどうするか？」ではなく「どんな機能が必要か？」に重点を置いた。</p>		

	<p>Q. 提言内容は100%採用されるのか？言うだけになってしまうのでは？提言実現に対する市の覚悟は？  A. 「思い」と「手段」は最も大切で、地域主体でないと生まれにくい。それらを提言として受け取り、実現性などを含め、改めて地域の皆さんと考えていきたい。</p> <p>Q. 商工会や土改、観光協会などの移転についてのコンセンサス(了解)はとれているのか？  A. 各団体からの意見も聞いている。共にまちづくりに協力したいということで認識している。</p> <p>Q. 文化財の保管管理は市全体で考えるべきか？地域単位で考えるべきか？  A. 個人・地域それぞれに管理する文化財があり、対応はさまざま。</p> <p>Q. コンシェルジュの件費や運営はどうする？  A. 市からもサポートしてほしいと考えている。</p> <p>○小規模多機能の話もそうだが、このような会議がある事自体の情報が住民に行き渡っていない。しっかりとした情報共有と全住民が意見を上げられるような工夫を！  →同感である。提言後、各自治振興会等の会合に説明に赴くことに関してもやぶさかではない。なるべく多くの人に関心を持ってほしい。</p> <p>○複合交流施設の運営は「稼げる」運営となることが大切。従来の助成金や指定管理制度をあてにしてはダメ。  →誰が運営するのかについては、まだ具体的な議論がされていない。施設運営に係る「お金をどう回すか」は、これからの重要課題</p>
<p>備考  課題・宿題・  今後の対応等</p>	<p>【次回以降】  第15回検討会議 12月17日(月) 午後7時～ 城端庁舎2階 会議室  全体会議(市長への提言) 12月19日(水) 午後7時～ 城端庁舎3階 ホール</p>